



# 第3回 災害時の要援護者に対する支援セミナー

## ～ 東北から神戸に ～

**日時** 平成26年2月16日(日)  
13時30分～17時(受付開始13時00分)

**会場** ラッセホール・サンフラワー(5階)  
兵庫県神戸市中央区中山手通4-10-8  
TEL 078-291-1117

神戸市営地下鉄西神・山手線：県庁前(兵庫県)駅 徒歩5分  
JR東海道線：元町(兵庫県)駅 徒歩8分  
JR東海道線：三ノ宮駅 徒歩15分

**参加費  
無料**



**目的**

大規模災害時に、人々は様々な危機に直面します。とりわけ、重い障害のある方は、自分だけで避難することは不可能です。避難方法の確保、医療的なケア、障害に応じた食事や医療用品の確保、精神的な動揺への対応など多くの困難を乗り越えなくてはなりません。障害のある人々や子ども達の避難体制の整備は、阪神・淡路大震災時にもその必要性が指摘されていました。しかし、東日本大震災が生じるまで、情報の整理や共有が十分であったとは言えません。本セミナーは、神戸大学と東北大学、宮城教育大学など被災地の大学、NPOが協力して行うもので、阪神・淡路大震災、東日本大震災の経験に基づいて、家族を亡くした子どものケアをも含めて、新しい対応法を学ぼうとするものです。これらの成果をまとめ、アジアを中心とした海外の被災地とも手をつなぎたいと考えています。

受付開始 13:00～

**1 前半 (13:30～15:10)**

司会 中井 靖(川崎医療短期大学 講師)

- 災害と要援護者 ～その問題点を整理する～ 神戸大学大学院保健学研究科 教授 高田 哲
- コンテナ砂場プロジェクト(CSP)について  
姫路市医監兼生活審議監 こども環境研究会関西代表 こども環境学会理事 河原 啓二
- 体験しよう ～災害時の医療機器 東北大学医学部 准教授 田中総一郎
- 特別支援教育と防災 宮城教育大学教育学部 教授 菅井 裕行

**休憩 (10分間)**

**2 後半 (15:20～16:20)**

司会 小寺さやか(神戸大学大学院保健学研究科 講師)

- コミュニティの中で喪失体験をした子どもたちのサポートを  
子どもグリーンサポートステーション・てとてとてとて 代表 西田 正弘
- 喪失を体験した家族への支援 ～家族のレジリエンスを支える～  
甲南女子大学看護リハビリテーション学部 准教授 瀬藤乃理子

**3 総合討論(演者全員) (16:20～17:00)**

座長 松田 宣子(神戸大学大学院保健学研究科 教授)  
滝口 哲也(神戸大学都市安全研究センター 准教授)

**セミナーに関するお問い合わせ先**

神戸大学大学院保健学研究科 高田哲研究室 Tel/Fax (078) 796-4515